

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和8年第3回白岡市議会定例会)

第1通告者

7番 野々口 眞由美 議員

1 防犯力の向上と市民による防犯対策への支援について

埼玉県では、刑法犯認知件数のうち、住宅の侵入窃盗や自転車の盗難などの生活に身近な犯罪が約5割を占めている。本市においても、市内の農業用ハウスにおいて、銅線ケーブルの盗難など、これまでには見られなかったような手口による盗難が発生しており、市公式ホームページにおいて注意喚起が行われる状況となっている。さらに、本市において、タイヤやエアコン室外機の盗難、就寝中を狙った侵入窃盗も発生しており、市民の皆様からは不安の声が寄せられている。そこで、地域の防犯力向上に向けた今後の取組について伺う。

- (1) 過去7年間で、白岡市内で発生した盗難等の件数について
- (2) 市として取り組んでいる防犯対策について
- (3) 市による防犯カメラ設置の取組等、さらなる防犯力向上に向けた対策について
- (4) 市民が設置する防犯カメラに対する補助制度の創設について

2 新白岡駅東口公衆トイレの使いやすさの向上について

新白岡駅東口階段下の公衆トイレは、当駅開業以来、全面改修が行われていない。しんしらひろばにおけるイベント開催等で利用者は増加している。さらにバリアフリー化されていない公衆トイレは、障がいのある方にとって利用が難しい。そこで、利用者の増加や多様な利用者への対応を踏まえ、改修の必要性について伺う。

- (1) JR宇都宮線の大宮駅から小山駅間における公衆トイレ整備の状況について
 - ア 改札内に公衆トイレが設置されていない駅はあるか。
 - イ 新白岡駅東口以外で、バリアフリー化されていない公衆トイレはあるか。

- (2) 新白岡駅東口公衆トイレの現状について、どのように認識してい

るのか。

- (3) 新白岡駅東口公衆トイレのバリアフリー化については、本市の都市計画マスタープランにおいても位置付けられている。これを踏まえ、今後の整備方針について伺う。

第2通告者

2番 尾 嶋 一 雄 議員

1 G I G Aスクール構想（第2期）の取組状況について

- (1) タブレット端末の貸与等学習環境面の整備状況と今後の計画について伺う。

ア タブレット端末の貸与（更新）状況

イ 学校の通信ネットワーク整備

ウ I C T支援員等、人的サポートの配置

エ セキュリティ面と家庭での利用の対応

- (2) 授業におけるタブレット端末の活用状況について伺う。

ア 継続的に利用している学習支援アプリは何か。また、その選定理由は。

イ 汎用アプリの利用の状況は。

ウ 教職員への研修等のサポート体制の整備状況は。

エ 授業で具体的にタブレット端末をどのように活用しているか。

- (3) 今後、個別最適な学び、協働的な学びとして一步進んだ授業が求められるが、市は、次の授業を行える体制整備を考えているか。

ア A Iドリルやデジタル教材を活用した授業

イ クラウドを活用したリアルタイムな意見共有ができる授業

ウ 学習ログを蓄積・分析して指導改善につなげる方策

エ ハイブリット授業や遠隔教育の実施

2 白岡市地域公共交通計画の基本方針に基づく目標に対する具体的施策の取組状況について

- (1) 高齢者等交通弱者にとって利便性の高い公共交通の整備について、以下の取組状況等を伺う。

ア のりあい交通のサービス内容の拡充・利用促進

- イ 高齢者等交通弱者の移動手段の拡充に向けた検討
 - ウ 運転免許証返納者に対する移動支援・助成の拡充に係る検討
- (2) 持続可能で使いやすい公共交通への転換について、以下の取組状況等を伺う。
- ア まちづくりと地域公共交通の連動
 - イ バス、タクシー乗務員の確保支援を通じた公共交通の維持
 - ウ 公共交通情報提供ツールの作成・充実
- (3) 新たな公共交通導入に向けた検討の実施について、以下の取組状況等を伺う。
- ア 移動が不便な地域における新たな移動手段の確保に向けた検討
 - イ IT・AI技術等の公共交通の活用に向けた検討
- (4) 鉄道駅の交通拠点機能の強化の取組状況等を伺う。

第3 通告者

4 番 細 井 藤 夫 議員

1 本市の農業の未来は

令和6年度に柴山裏地区、実ヶ谷・千駄野地区、大山地区、令和7年度に日勝地区、篠津地区の地域計画が策定されたことで、今後の集約化・大規模化の道筋が見えた。計画の実現に期待しつつ、本市の農業を問う。

- (1) 地域計画5地区それぞれ個別の課題、また、市全体としての農業の課題は何か。現状も併せて伺う。
- (2) 地域計画5地区それぞれの今後の農地利用の在り方について伺う。経営作目と経営面積はどのように変化していくか。
- (3) 地域計画5地区の農業を最大効率化するためには、ほ場整備やスマート農業化の一層の推進が必要と考える。県と連携して取り組んではどうか。
- (4) 地域計画が実現した場合、本市には現状比約5倍の広大な水田ができることになる。有機栽培米「白岡そだち」の生産拡大などで、水稻のブランド力を高め、本市農業の価値を高めていくことも必要と考える。農業法人等と連携して取り組んではどうか。

2 都市公園の遊具等の在り方は

人口減少社会、少子高齢化の流れのなかで、将来にわたって都市公園の遊具等の設備を現状維持することが適切か、長期的な検討を始めてはどうか。

- (1) 市内の都市公園には、どのような設備・備品が配置されているか伺う。
- (2) 今後の人口動向を踏まえて、公園利用者をある程度想定した遊具等の最適化を検討してはいかがか。
- (3) 公園にある砂場は、利用状況によっては砂が固くなる、雑草が繁茂するといった状態があると承知している。今後の砂の入れ替えなどのタイミングをみて、雑草が生えにくい砂材にするなどの対策も有益と考えるが、いかがか。

第4 通告者

8番 石 渡 征 浩 議員

1 学校施設の適正規模・適正配置についての所感 ～計画の精度アップに向けて～

- (1) 将来ビジョン（白岡市教育振興基本計画も含め）の中で、どのような児童・生徒になってほしいのかの人物像を明記すべきではないか。
- (2) 検討の前提として、適正規模・適正配置案パターン①～④以外の案はないことを表明しておく必要があると考えるが、いかがか。
- (3) パターン①～④のうち、どの案にするかを決める前に、課題について、ある程度の方向性を示しておかなければならない課題と決めた後でも対応可能な課題（決めた後でないと具体的な検討が進まない課題）の2つにグルーピングする必要があると考えるが、いかがか。
- (4) パターン①～④のうち、どの案にするかを決める前に、ある程度の方向性を示しておかなければならないと思われる課題について、市の見解を伺う。

ア 小中一貫教育は推進すべきと考えるが、現時点では、義務教育

学校と結論付けず、義務教育学校も可能な余地を残すに留めておいた方が良いと考えるが、いかがか。

イ 他の公共施設との複合化・共用化については、現状の学童保育に加え、図書館や避難所としての活用に留めておいた方が良いと考えるが、いかがか。

(5) 学校適正規模・適正配置審議会での議論は、収斂させていくタイミングに来ている。今後の審議会では、(4)アとイに絞った議論を行うべきと考えるが、いかがか。

(6) パターン①～④のうち、どの案がふさわしいかを判断する際は、メリットを最大限に生かせ、かつ、デメリットを最小限にできる案はどれかという観点が必要ではないか。

(7) 学区については、大幅な見直しはできない（する必要性もない）が、隣接する学区との境界は、見直し又は学校選択の自由を保障した方が良いと考える。いかがか。

(8) 適正規模・適正配置案の最終形に至るまでの過渡期の対応は、必ずしもパターン④とは限らない。制約条件に重きを置いた判断をすべきで、その前提として、小中学校9校について、それぞれ長寿命化及び建替えのスケジュールを明確にする必要があると考えるが、市の見解を伺う。

(9) 将来ビジョンの3本柱の中では、一人ひとりが輝く「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が最重要である。

以下、ア～オについて、市の見解を伺う。

ア 小学校の算数は、少人数指導又はチーム・ティーチングが必須ではないか。

イ 小学校3年生から始まる英語は、教科担任制、かつ、ALTの配置が必須と考えるが、いかがか。

ウ 特別支援学級に加え、通級学級も全校に整備する必要があるのではないか。

エ プールは各学校に整備する必要はないと考える。B&G海洋センターを最大限に活用した方が良いのではないか。

オ 中学校生徒は、原則として徒歩通学である。自転車使用の特別許可は、職場体験学習や部活動などでの遠征に限られている。

日常的な自転車通学を認めない理由は何か。併せて、自転車通学を積極的に検討すべき時期に来ていると考えるが、市の見解を伺う。

(10) 存続・統廃合に関わらず、菁莪、篠津、大山という伝統ある学校名を残すことはできないか。

2 交通安全対策の取組状況は

交通事故の未然防止の観点から、道路（通学路以外）の危険箇所については、早急な対応が必要である。以下、(1)～(4)について伺う。

(1) 危険箇所の状況把握は、どのように行っているか。

住民からの直接要望、行政区長を通じた要望、職員のパトロール、交通指導員からの情報提供以外にあるか。

(2) 危険箇所について、年間情報入手経路別件数、年間対応件数及び現時点での未対応件数は。

(3) 危険箇所について、その危険度と緊急度を評価し、優先順位を付けた上で、進捗状況を一覧表で管理した方が良いと考えるが、市の見解を伺う。

(4) 市が対応すべき危険箇所については、予備費の活用ではなく、確実に対策が講じられるよう当初予算を優先的に確保すべきと考えるが、いかがか。

第5 通告者

9 番 齋 藤 信 治 議員

1 障害の社会モデルと合理的配慮

インクルーシブ教育を進めるためには、学校において「障害の社会モデル」に基づく社会的障壁の排除と「合理的配慮」の推進が必要である。

(1) 「障害の社会モデル」を浸透させ社会的障壁（バリア）を知ってもらう方策を実施しないか。

(2) 「意識上のバリア」を理解し、偏見を生まない教育を目指せない

か。

- (3) 「障害者権利条約」にて指摘されている「合理的配慮」は、障害者差別解消法において提供されることが義務化された。それは、学校現場で進んでいるのか。例えば、学習障害を持つ子にタブレットによる写真印刷や音読機能の利用を認めているのか。
- (4) 「合理的配慮」を求めると「優遇している」「特別扱いしている」と批判される。こうした批判に対して、どのように対処するか。
- (5) 学校における「合理的配慮」の進展は思わしくない。すべての学校において推進できる対策を講じられるか。

2 エネルギー危機を機会に、太陽光パネル設置を進めては

イランとアメリカの戦争によりホルムズ海峡が閉鎖され原油が輸入できない状態となっている。改めて日本のエネルギーは不安定であることを思い知らされた。そこで、エネルギー（電気）の地産地消を進めるべきと考える。

- (1) 当市の電気の自給率等の現状はいかがか。また発電量増大の予定はあるのか。
- (2) 太陽光パネルと蓄電池の設置を推進するための補助金制度の拡大やP P Aの支援などできないか、ア～ウについて伺う。
 - ア 戸建て住宅
 - イ 集合住宅（アパートやマンション等）
 - ウ 企業や工場
- (3) メガソーラーを設置する場所は少なくなったが、目の前に広がる農地の上に設置する営農型であれば可能だ。第1号が開設されてから、第2号が続かない。申請状況などを伺う。

第6 通告者

6 番 和 賀 正 義 議員

1 介護サービスの効率化について

国は、介護D Xを推進し、紙中心の業務からデータ連携型への転換を進めている。一方で、介護現場では、紙とデータの二重管理が残る

など、業務負担や運用面での課題も生じている。こうした中、本市として国の動向を捉え、現場の課題解決に向けて、どのように取り組んでいくのか。

- (1) 管理事務の効率化として、介護支援専門員の認定調査委託料の単価見直しや、主治医の意見書を市から病院に直接送付することで、一定の効果があったと考えるが、認定調査事務にかかる期間は短縮できたのか。
- (2) 市が介護DXとして現在取り組んでいる事項は何か。また、問題点をどのように把握しているのか。
- (3) 認定調査、書類管理、情報共有について、今後どのようなスケジュールでDX化を進めていくのか。
- (4) 今後、ますます高齢化が進む中、県内事例を基に認定調査のタブレット化、データ活用、紙提出の見直しなど、介護職員や市職員双方の負担軽減につながる取組について、どのように考えるのか。

2 市民を守る特殊詐欺対策の強化について

特殊詐欺が全国的に増えており、被害は、高齢者だけでなく若年層にも広がっている。

市としては、警察だけでなく「地域・金融機関・福祉・自治会」と連携した対策が重要であると考えます。

(1) 市内の被害状況把握について

特殊詐欺の発生件数・被害額の推移・高齢者以外の世代への被害状況はどうか。

(2) 市の啓発活動について

防災無線、広報紙、LINEなどを活用した注意喚起の状況は。また、高齢者世帯への個別周知・自治会・民生委員・金融機関との連携状況はどうか。

(3) 固定電話対策としての自動通話録音機や迷惑電話防止機器への補助制度は。

(4) デジタル詐欺対策として、若年層向けの情報教育の必要性について

てどう考えるか。

(5) 特殊詐欺対策の新たな取組について、どう考えるか。

第7 通告者

17番 江原浩之 議員

1 白岡駅東口付近の都市基盤整備について

- (1) 蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業の進捗状況及び白岡駅東口駅前広場の整備内容等はどのようになっているのか。
- (2) 蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業地内の都市公園の整備方針は。

2 水路敷の適正管理について

- (1) 小久喜地内野久喜落の滞水、臭気対策をどのように考えているのか。
- (2) 野久喜落水路内に繁茂している樹木や雑草等の対応は。
- (3) 白岡駅東口駅前広場南側水路敷に雑草が繁茂しているが、対応は。また、この水路敷の有効活用を考えてはいかがか。

第8 通告者

1番 寺戸睦子 議員

1 白岡市の健康対策、介護予防施策について

- (1) 介護保険制度の利用状況について、以下の項目の最新年度データを伺う。
 - ア 介護サービス受給者数
 - イ 介護保険給付額
 - ウ 要介護及び要支援の割合について
- (2) 市の介護保険財政の負担が増加傾向にある場合、要支援認定の前段階である介護予防の強化が極めて重要になると考える。そこで市が現在実施している高齢者向け健康対策とその施策ごとの年間費用を伺う。
- (3) 地域で継続している「健だま体操」の取組を市が後押しすることが介護予防に効果的と考える。今後どのように支援していくのか伺う。

2 菁莪中学校における教育の質の確保について

菁莪中学校では、生徒数の減少が続いており、それに伴い配置される教員数も減少していることから、不安の声が上がっている。そこで、以下について伺う。

- (1) 生徒数減少に伴う教員配置の現状と課題認識
- (2) 授業の質を維持するための市としての取組
- (3) 少人数化が進む中での教育環境の確保に関する今後の方針

3 中学校の老朽化について

- (1) 老朽化に伴う臭気や衛生面の問題からトイレの使用を控えている生徒がいると聞いている。そこで、以下ア、イ、ウについて伺う。

ア 現時点で洋式化率が約50%に留まっている理由は財政的要因なのか、あるいは他の理由があるのか。

イ 使用控えが続いている現状をどのように受け止めているのか。

ウ 今後どのように対応していくのか。

- (2) 菁莪中学校など、特に老朽化が進んでいる学校について、環境面、安全面の観点からも、学校適正規模・適正配置のスケジュールを加速する予定はないのか伺う。

第9通告者

13番 菱 沼 あゆ美 議員

1 読書のまちづくりについて

- (1) 読書をまちづくりの中心に掲げ、白岡市の地域における価値や愛着を増やす方向性を大きく打ち出してはいかがか。まちの様々な場所に本棚を置き、本を中心に人々の交流や居場所づくりを行う「まちじゅう図書館」のような取組などを始めてはどうか。例えばシラオカフェに、民間スポンサー毎の本棚を置くようなことで、居場所としての新たな価値が生まれるのではないか。
- (2) 小中学校の学校図書館を、地域の住民が活用できるように開放し、交流や居場所として活用してはどうか。
- (3) 市立図書館の更なるサービス充実のために、以下の取組について伺う。

- ア 読書通帳の活用
- イ 読書バリアフリー向上のために「りんごの棚」の導入
- ウ 地域や公園、施設などへの移動図書館の導入
- エ 図書館のホームページの刷新

2 包括的性教育について

- (1) 小中学校では学校指導要領の範囲で「生命の安全教育」が行われているが、十分ではない。知識や情報として外部専門家の講演を導入することなどで補完ができる。

ア 講演の取組状況などを伺う。

イ 受講できる学年枠の拡大や保護者への情報発信に工夫をすることはどうか。

- (2) 広く市民にも包括的性教育に触れる機会として、県内でも多くの自治体が行っているユースクリニックを開催するべきと考えるが、いかがか。

3 樹木の管理について

- (1) 市としての樹木管理はどのように行っているか。

- (2) 各地で倒木が多発している。防止のための管理や点検はどのようにしているか。

- (3) 広く市民に向けて、広報紙やホームページなどで、倒木防止の協力などを呼び掛けてはどうか。

第10通告者

10番 加藤一生 議員

- ### 1 中東情勢の問題等による物価高騰の市民生活及び地域経済への影響について

市民生活や市内の事業者に対して、物価高騰の影響を、市としてはどのように認識しているのか。また、どう対応しているのか。

- ### 2 中東情勢の問題による個別的影響について

- (1) 市指定のごみ袋について

ア 流通状況はどうなっているか。

イ 市民への周知はどうしているのか。

- (2) 白岡中央総合病院について
 - ア 工事日程に影響はあるのか。
 - イ 市民への周知はどうするのか。

第11 通告者

12番 中山 廣子 議員

1 おくやみ対応の充実について

- (1) 直近3年間の死亡者数の推移と行政手続の流れを伺う。
- (2) おくやみハンドブックの配布状況等について伺う。
- (3) 遺族の負担軽減や手続の円滑化を図るため、おくやみ窓口の設置を検討してはいかがか。
- (4) 来庁前に必要な手続や持ち物を確認できる「死亡後手続案内システム（いわゆる『おくやみ手続きナビ』）」の導入を検討してはいかがか。

2 ヤングケアラー支援について

- (1) ヤングケアラー支援について、今後どのような状態を目指していくのか伺う。
- (2) 潜在的なヤングケアラーに気づき、支援につなげるため、今後どのような取組を考えているのか伺う。
- (3) アンケート調査等を継続して行う考えはないか伺う。
- (4) 子どもが相談しやすく、周囲も気づきやすくなるツールの導入を検討してはいかがか。

3 公立保育所におけるおむつのサブスクリプションサービスの導入について

- (1) 近隣自治体及び市内民間保育施設におけるおむつサブスクリプションサービスの導入状況及び運用状況について、市はどのように把握しているか伺う。
- (2) おむつサブスクリプションサービス導入による保護者負担軽減について、市の見解を伺う。
- (3) 現在、市では待機児童対策を進めているが、今後の少子化や保育需要の変化を見据えた中で、公立保育所におけるおむつサブスクリ

プシヨンスービス導入による保育の質の向上について、どのように考えているか伺う。

- (4) 将来的な導入可能性を含め、公立保育所におけるおむつサブスク
リプシヨンスービス導入を検討してはいかがか。

第12通告者

3番 嶋田 友一郎 議員

1 持続可能な地域コミュニティ組織について

- (1) 市内の行政区及び自治会の現状と課題について伺う。
- (2) 学校区等を単位とした自治会組織化について見解を伺う。
- (3) 自治会など地域コミュニティのDX化を推進し、電子回覧板等の
導入を進めてはどうか。

2 土地改良法に基づく非農用地創設と地域活性化について

- (1) 非農用地創設を伴う土地改良事業について伺う。
- (2) イチゴノオカプロジェクトの進捗状況について伺う。
- (3) 柴山沼周辺における土地改良について伺う。

第13通告者

5番 浜口 清志 議員

1 国民健康保険及び後期高齢者医療保険におけるマイナ保険証の実態 は

- (1) 国民健康保険及び後期高齢者医療保険におけるマイナ保険証の取
得人数、取得率及び利用率は。
- (2) 国民健康保険及び後期高齢者医療保険のマイナ保険証の利用を止
めた人数と主な理由は。
- (3) 全国ではマイナ保険証のトラブルが発生している。市の状況は。

2 「ささえあいカー」の運行実績と今後の展開は

- (1) 「ささえあいカー」の利用実績にかかる運行経費の内訳は。
- (2) 実証実験を踏まえてのアンケート結果は。
- (3) アンケート結果と昨年度の利用実績を踏まえて、これからどのよ
うに展開していくのか。

第14通告者

15番 大島

勉 議員

1 職員の退職状況と持続可能な行政運営について

- (1) 職員の退職の現状分析と組織課題について
- (2) 職場環境と組織風土について
- (3) 人材確保と持続可能な行政運営について

2 東西の地域特性を活かした持続可能なまちづくりについて

- (1) 東西それぞれの地域特性を活かした将来戦略について
- (2) 大山地域の再生に向けた政策展開について
- (3) 人口減少社会における「選択と集中」について

3 いじめ重大事態における危機管理体制と事後対応について

- (1) いじめ重大事態認定後における情報発信と説明責任について
- (2) 事後対応と継続支援について
- (3) 教育行政への信頼に対する影響について

4 大山小学校の廃校及び跡地利用に関する説明責任と今後の対応について

新たに開示された資料で明らかになった一連の事柄について問う。

第15通告者

11番 松本

栄一 議員

1 小・中学校の修学旅行について

市内の小学校・中学校では、各学校別に児童・生徒の卒業前に実施をしているが、現在の実施状況及び今後の方向性について伺う。

- (1) 各小学校・中学校別の実施状況は、どのようなか。
- (2) 各小学校・中学校別の参加費用及び参加状況は、どのようなか。
- (3) 県内では、中学校の修学旅行費補助を毛呂山町が導入済みで、所沢市が本年度から小・中学校の旅行費を補助する。現在、本市では、市立学校適正規模・適正配置等計画策定事業が進行中だが、児童・生徒が在籍中の学校での修学旅行費を補助できないか。

2 自転車利用者の安全対策について

自転車ヘルメットの着用が令和5年4月から努力義務化された。また、改正道路交通法が令和6年11月に施行されたことに伴い、本年

4月からは、自転車の違反にも「青切符」制度が適用され、反則金を納める場合が発生する。

- (1) 現在、白岡駅東口及び西口では、駅利用者の車道と歩道の分離帯整備が進んでいるが、自転車利用者の区分をどのように考えているか。
- (2) 市内の都市計画道路で、自転車及び歩行者が車道との区分を十分に確保できる道路は、何か所あるか。
- (3) 自転車の交通違反「青切符」制度の市民への周知は、どのようなか。
- (4) 自転車利用者のヘルメット購入費の補助については、どのように考えているか。

第16 通告者

16番 黒 須 大 一 郎 議 員

1 どうなる地域医療と白岡中央総合病院の移転後は

- (1) 来年秋の開院に向けての支援状況は。市が行った周辺道路等の整備はもとより、市が助成する固定資産税相当額の補助と救急医療や災害、地域防災、感染症対策等の用に供する地域貢献に資する機器、設備等にかかる経費の準備は万全か。
- (2) 現在の病院は、移転後どのようになるのか。
- (3) 新しい白岡中央総合病院が開院することによって、現在の地域医療構想における利根保健医療圏での医療サービスが向上するのか。するならば、具体的には何か。

2 ちょっと先の白岡を伺う

- (1) 2031年度の本庁舎や窓口サービスはどうなっているか。
- (2) 2031年度には、どのような教育方針を掲げて、どのような小中学校（教育システム・体制）になっているか。
- (3) 2031年度には、白岡中学校北側はどうなっているか。若しくは、その土地区画整理事業は進んでいるか。
- (4) 2031年度には、白岡駅西口広場及び白岡駅西口線の整備が完了し、白岡駅東西口が整う予定だ。市の顔はどうなるのか。
- (5) 昨年度5回にわたり、市長は市の未来について市民と意見交換し

ている。それを踏まえてちょっと先の白岡を市長に伺う。